

第31期 決算速報

(2024年7月1日から2025年6月30日まで)



2025年8月12日

株式会社 旅籠屋

会社名 (定款上の商号)
英文名 (英文商号)
代表者の役職氏名
本店の所在地
電話番号
連絡先

株式会社 旅籠屋
Hatagoya & Company
代表取締役 甲斐 真
東京都台東区寿3丁目3番4号
03-3847-8858
取締役 亀井 明

I 当期の業績

(1) 損益計算書 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

期別 科目	前年度	当年度	当年度	当年度	当年度	当年度	前年同期 比	前年度
	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計		累計
	2024.4.1~	2024.7.1~	2024.10.1~	2025.1.1~	2025.4.1~	2024.7.1~		2023.7.1~
	2024.6.30	2024.9.30	2024.12.31	2025.3.31	2025.6.30	2025.6.30		2024.6.30
I 営業収益 売上高	551,534	730,974	621,367	526,486	580,945	2,459,774	+1.2%	2,431,760
II 営業費用 売上原価	495,684	488,293	487,232	514,155	489,839	1,979,520	+2.9%	1,923,281
販売費及び一般管理費	65,812	64,787	69,869	70,969	75,994	281,621	+8.7%	259,098
営業利益または営業損失(▲)	▲9,962	177,894	64,266	▲58,639	15,111	198,632	▲20.4%	249,381
III 営業外収益	2,304	1,717	1,776	1,961	5,072	10,528	+35.8%	7,753
IV 営業外費用	17,328	8,213	7,632	7,494	7,708	31,049	▲24.4%	41,043
経常利益または経常損失(▲)	▲24,986	171,397	58,410	▲64,172	12,475	178,111	▲17.6%	216,090
V 特別利益	-	59,211	-	-	-	59,211	-	-
VI 特別損失	300	25,570	36,480	44,776	▲200	106,626	+304.8%	26,343
税引前四半期(当期)純利益または純損失(▲)	▲25,286	205,039	21,930	▲108,949	12,675	130,695	▲31.1%	189,746
法人税、住民税	3,947	4,115	4,115	4,115	4,422	16,767	▲1.9%	17,098
法人税等還付額	-	-	-	-	-	-	-	-
法人税等調整額	▲31,349	-	-	-	▲20,664	▲20,664	-	▲31,349
四半期(当期)純利益または純損失(▲)	2,114	200,924	17,815	▲113,064	28,917	134,592	▲34.0%	203,997
期中平均株式数	5,589	5,589	5,589	5,589	5,589	5,589	-	5,589
1株当たり四半期(当期)純利益または純損失(▲)	378円	35,950円	3,188円	▲20,230円	5,174円	24,081円	▲12,419円	36,500円

- ・潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- ・特別利益は、期首に所有権移転外ファイナンスリース取引を通常の会計処理に戻したことによるものです。
- ・特別損失は、退任役員に対する退職慰労金と裁判関連の支払いによるものです。

(2) 貸借対照表 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	当年度	当年度	当年度	当年度	
		第4四半期末	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	
		2024.6.30	2024.9.30	2024.12.31	2025.3.31	2025.6.30	
(資産の部)	I 流動資産	現金預金	783,127	827,023	868,652	645,688	730,619
		その他	225,106	265,027	261,850	300,067	241,761
		流動資産合計	1,008,234	1,092,050	1,130,502	945,775	972,381
	II 固定資産	リース資産	192,486	-	-	-	-
		他の有形固定資産	784,927	810,274	788,874	801,484	787,157
		無形固定資産(リース資産を含む)	543	17,303	16,428	15,553	14,678
		投資その他の資産	203,669	203,020	202,063	199,284	197,596
		固定資産合計	1,181,626	1,030,598	1,007,367	1,016,322	999,432
	資産合計	2,189,860	2,122,649	2,137,870	1,962,098	1,971,813	
	(負債の部)	I 流動負債	293,783	227,324	223,964	158,513	139,946
II 固定負債		リース債務	201,609	-	-	-	-
		他の固定負債	1,787,184	1,787,116	1,787,882	1,790,625	1,789,991
負債合計	2,282,577	2,014,441	2,011,847	1,949,139	1,929,937		
(純資産の部)	I 株主資本	資本金	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
		資本剰余金 資本準備金	68,916	68,916	68,916	68,916	68,916
		その他資本剰余金	41,710	41,710	41,710	41,710	41,710
		利益剰余金 繰越利益剰余金	▲246,545	▲45,620	▲27,805	▲140,869	▲111,952
		自己株式	▲56,798	▲56,798	▲56,798	▲56,798	▲56,798
	株主資本合計	▲92,716	108,207	126,023	12,958	41,875	
純資産合計	▲92,716	108,207	126,023	12,958	41,875		
負債・純資産合計	2,181,972	2,122,649	2,137,870	1,962,098	1,971,813		
発行済株式総数(株)	5,589株	5,589株	5,589株	5,589株	5,589株		
1株当たり純資産(円)	▲16,589円	19,361円	22,548円	2,319円	7,493円		

- ・リース資産とリース債務がゼロとなっているのは、所有権移転外ファイナンスリース取引を通常の会計処理に戻したことによるものです。
- ・他の固定負債のうち、商工組合中央金庫からの300,000千円と日本政策投資銀行からの300,000千円は、それぞれ資本性借入金であり、金融検査上資本とみなされるものです。

(3) 株主資本等変動計算書 (2024年7月1日～2025年6月30日、単位：千円、千円未満は切り捨てて表示)

項目	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	その他利益剰余金			
				繰越利益剰余金			
当期首残高	100,000	68,916	41,710	▲246,545	▲56,798	▲92,716	▲92,716
第1四半期中の変動額 四半期純利益				200,924		200,924	200,924
第1四半期中の変動額の合計				200,924		200,924	200,924
2024年9月30日残高	100,000	68,916	41,710	▲45,620	▲56,798	108,207	108,207
第2四半期中の変動額 四半期純利益				17,815		17,815	17,815
第2四半期中の変動額の合計				17,815		17,815	17,815
2024年12月31日残高	100,000	68,916	41,710	▲27,805	▲56,798	126,023	126,023
第3四半期中の変動額 四半期純利益				▲113,064		▲113,064	▲113,064
第3四半期中の変動額の合計				▲113,064		▲113,064	▲113,064
2025年3月31日残高	100,000	68,916	41,710	▲140,869	▲56,798	12,958	12,958
第4四半期中の変動額 四半期純利益				28,917		28,917	28,917
第4四半期中の変動額の合計				28,917		28,917	28,917
2025年6月30日残高	100,000	68,916	41,710	▲111,952	▲56,798	41,875	41,875

(4) 貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表および損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則および手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「第30期事業報告書 注記表 I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照ください。

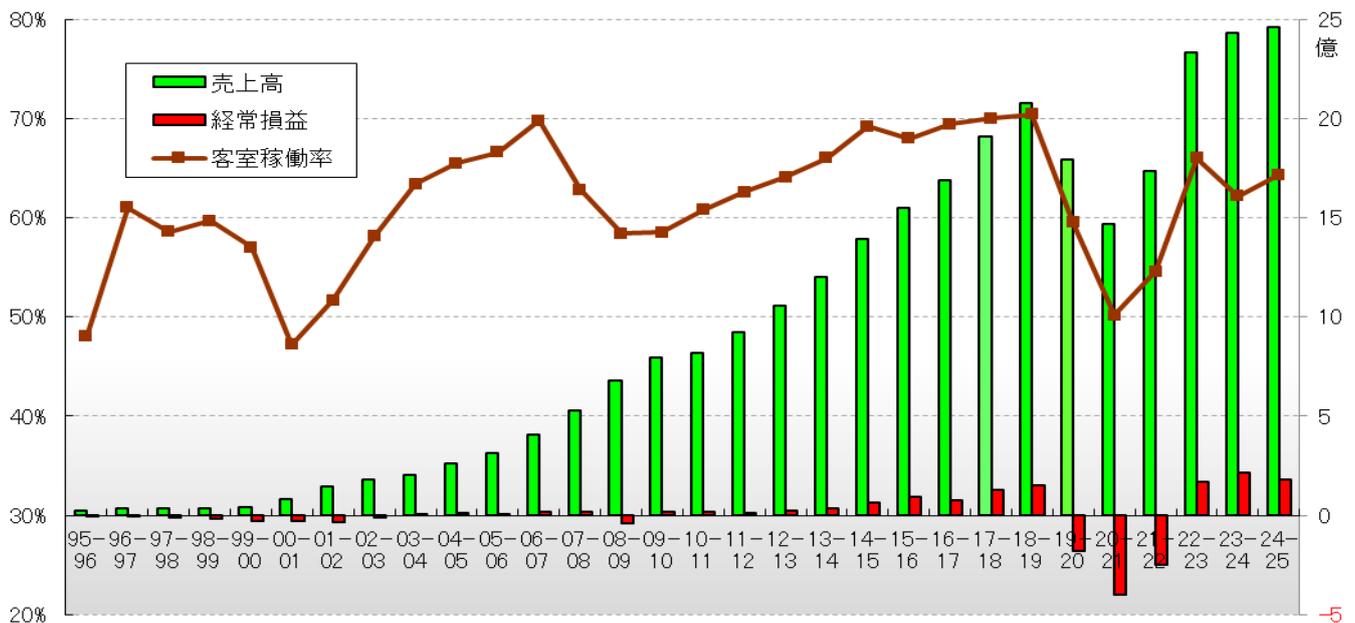
ただし、当年度より所有権移転買戻ファイナンスリース取引については、通常の処理に戻しております。

なお、事業年度の貸借対照表および損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則および手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

- 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間償却見積額の4分の1相当額を計上しています。
- 経過勘定項目 未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間収益または期間費用として処理しています。
- 消費税等の会計処理 仮払消費税等および仮受消費税等は、相殺のうえ、差額を流動資産または流動負債として計上しています。

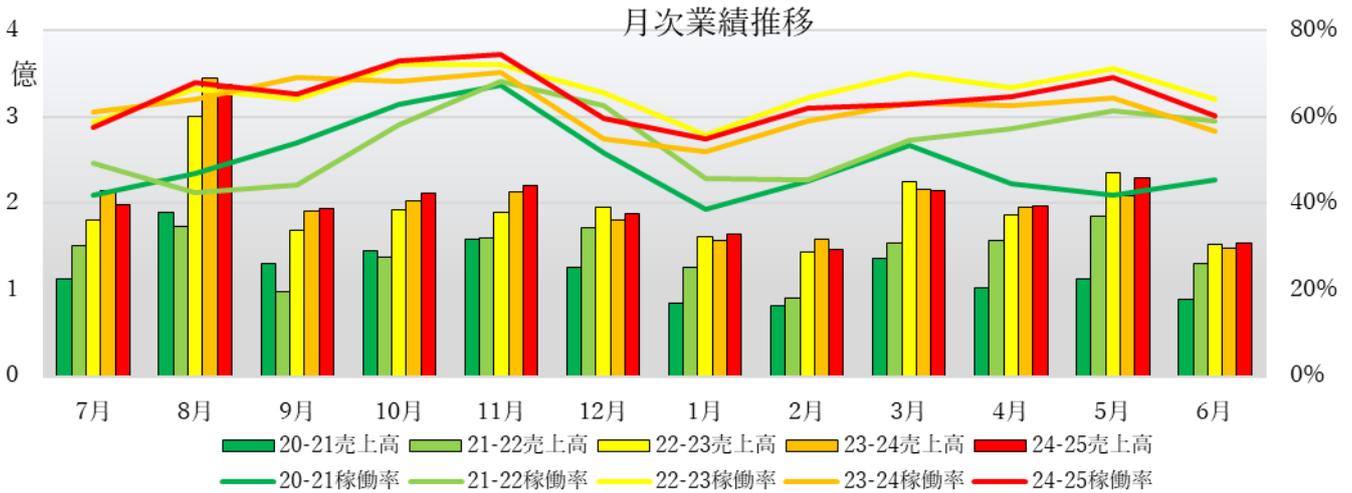
II 第31期 (2024年7月1日～2025年6月30日) の業績の概況

(1) 売上高・経常損益・客室稼働率(全社合計)の年度別推移 (通期)

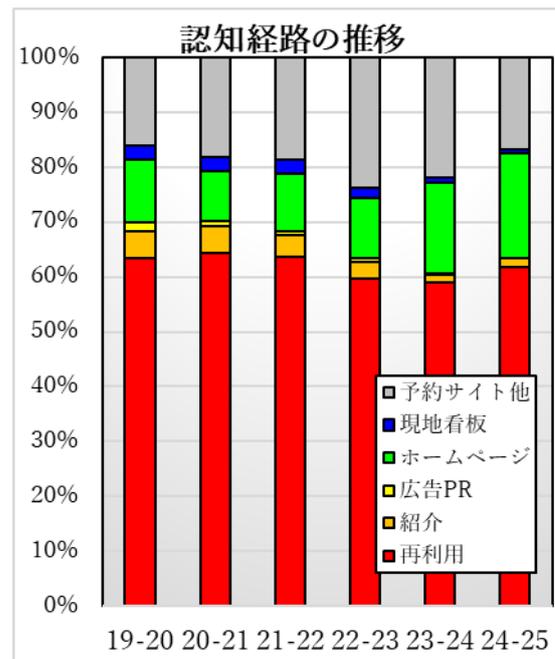
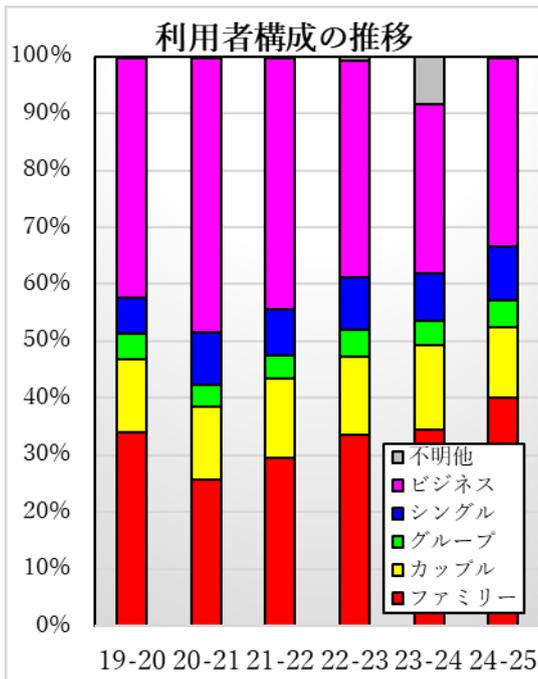


コロナ禍により2020年から2022年にかけて売上が急減して3期連続で大幅な経常赤字となり、債務超過の状況となりましたが、コロナ禍の収束と2度の室料値上げにより今年度の売上高は過去最高となり、債務超過も解消いたしました。ただし、客室稼働率はコロナ前の水準に戻っておりません。

(2) 月次の業績推移



(3) 顧客属性の推移 (7月1日～6月30日)



利用者構成は、コロナ禍によりファミリー客の減少が目立っておりましたが、ほぼ以前の割合に戻ってきました。認知経路については、リピーターの割合が微増に転じて60%に戻り、ホームページの割合が増えております。予約サイトへの依存も2割以下となっております。これらの点が弊社の大きな特徴です。

Ⅲ 第31期の売上高および利益の予測について (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目 \ 期別	第28期 通期実績 2021.7.1～2022.6.30	第29期 通期実績 2022.7.1～2023.6.30	第30期 通期実績 2023.7.1～2024.6.30	第31期 通期実績 2024.7.1～2025.6.30	第32期 通期予想 2025.7.1～2026.6.30
売上高	1,735,040	2,330,659	2,431,760	2,455,156	2,500,000
経常損益	▲246,384	169,268	216,090	178,111	250,000
当期純損益	▲329,585	200,088	203,997	134,592	230,000

8月1日からの料金値上げの影響により、一定の稼働率低下は避けられないものの、売上高は増加する見通しです。

IV 資金および借入金の状況

(1) 現金および預金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨て)

科目	期 第 30 第 4 四半期 2024 4.1~6.30	第 31 期第 1 四半期 2024 7.1~9.30	第 31 期第 2 四半期 2024 10.1~12.31	第 31 期第 3 四半期 2025 1.1~3.31	第 31 期第 4 四半期 2025 4.1~6.30
現金および預金の増減額	+23,835	+43,895	+41,629	▲222,964	+84,931
現金および預金の四半期首残高	759,292	783,127	827,023	868,652	645,688
現金および預金の四半期末残高	783,127	827,023	868,652	645,688	730,619

(2) 短期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨て)

科目	期 第 30 第 4 四半期 2024 4.1~6.30	第 31 期第 1 四半期 2024 7.1~9.30	第 31 期第 2 四半期 2024 10.1~12.31	第 31 期第 3 四半期 2025 1.1~3.31	第 31 期第 4 四半期 2025 4.1~6.30
短期借入金の増減額	+84,976	-	-	▲84,976	-
短期借入金の四半期首残高	0	84,976	84,976	84,976	0
短期借入金の四半期末残高	84,976	84,976	84,976	0	0

(3) 長期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨て)

科目	期 第 30 第 4 四半期 2024 4.1~6.30	第 31 期第 1 四半期 2024 7.1~9.30	第 31 期第 2 四半期 2024 10.1~12.31	第 31 期第 3 四半期 2025 1.1~3.31	第 31 期第 4 四半期 2025 4.1~6.30
長期借入金の増減額	▲84,976	-	-	▲23	-
長期借入金の四半期首残高	1,847,831	1,762,852	1,762,852	1,762,852	1,762,829
長期借入金の四半期末残高	1,762,852	1,762,852	1,762,852	1,762,829	1,762,829

(4) 投資その他の資産の内訳 第 31 期第 4 四半期末 (2025 年 6 月 30 日) 時点 (千円未満は切り捨てて表示)

170,671 千円	… 借上直営店における差入れ保証金 (契約満了時返済)
23,947 千円	… 「水戸大洗店」修繕立替金
1,210 千円	… 取引信用金庫などへの出資金
1,343 千円	… 信用保証協会への信用保証料
389 千円	… 繰延税金資産
34 千円	… リサイクル預託金
合計 197,596 千円	

V 今後の事業展開について

「那須店」は、来春には再開できる見通しです

建築確認申請のシステム変更による審査の遅延などにより計画の進行が遅れておりますが、今秋には着工し、来春には竣工・営業再開となる見通しです。

給与体系の変更と待遇改善を行いました

コロナ禍により果たせなかった社員の労働条件や待遇改善について半年間をかけて抜本的な見直しを続け、7 月 1 日より 10% 程度の給与増額と休日の増加を実施しております。これにより、社員の意欲向上を図り、「旅籠屋らしさ」を守り、「清潔であたたかい宿、清潔であたたかい職場」を実現していきたいと考えております。

8 月 1 日より、宿泊料金を値上げしました

リネンサプライ費など店舗運営費用の上昇により、誠に不本意ではありますが、8 月 1 日ご宿泊分から料金を 10~20% 値上げさせていただきました。予約状況を見ると当面一定の稼働率低下は免れないものの、売上は増加する見通しです。

パンフレットとホームページの改訂を進めています

旅籠屋の特徴などを広く理解いただくために「総合ガイド」を全面改訂し、お客様の利便性を向上させるために一時廃止されていた「店舗別パンフレット」を復活させました。

また、集客において重要な位置を占めているホームページの表示速度の遅さが致命的な問題となっているため、昨秋より抜本的な改定作業に着手し、内容の大幅見直しを行って、この秋には公開する予定にしております。

債務超過が解消されました

コロナ禍により、2021 年 6 月期より 3 年間にわたって債務超過の状態が続いておりましたが、昨年 9 月末の時点で解消されました。来期は、増収増益を実現して純資産額を拡大し、経営の安定化を図っていききたいと考えております。

定例集計データの整備を進めています

経営には計数管理が必須となりますが、創業から 30 年、店舗や社員の急増などもあって、データ管理に不統一な面がありました。一元的かつ定期的にデータを集約するよう整備を進めており、その分析と活用を行う計画です。

以上